



弱さは強さの欠如ではない。

劇的なピアニッシモ状態だ！！

社会福祉法人じねんじょ
理事長 金原洋治

猛暑が続きますが、皆様におかれましてはお元気でご活躍のことと思います。

いつも、「じねんじょ」の活動にご協力ご支援いただき感謝しております。

国政レベルでは相変わらず混迷が続いています。被災地の方々の復興や暮らしの立て直しを一時も急ぐ必要があるのにこの混迷ぶりは困ったものです。このような状況のなかでも障害者福祉の分野では朗報がありました。7月17日に待望していた障害者虐待防止法が国会で可決したことです。平成24年12月1日施行に向けて準備が始まっています。障害者基本法の改正、障害者総合支援新法成立に向けた作業も行われています。下関市では、下関市障害者基本計画・障害者福祉計画（第3期）の策定が始まり、平成23年度末の策定に向けた作業が行われています。これから計画の基礎であり最も大切なニーズ調査である障害者や事業所などのアンケート調査が行われますのでご協力のほどよろしくお願いします。

「じねんじょ」では、7月に横須賀の社会福祉法人みなと舎「ゆう」の理事長飯野雄彦先生をお招きして公開講座を開催致し、沢山の皆様に参加いただきました。重い障害がある人達が安心して地域で生き抜くためにさまざまな取り組みの内容をお話しいただきました。「じねんじょ」開設に当たっても、様々なアドバイスをいただいた方ですが、今回のお話で、「じねんじょ」の将来像に参加いただいた皆様にも思い描くことができたのではないかと思います。

最後になりますが、われわれ重い障害がある人と共に生きるものにとって大切な視点を気づかせてくれることばに出会いましたので紹介します。

「弱さは強さの欠如ではない。弱さというそれ自体の特徴を持った劇的でピアニッシモな現象なのである。それは、繊細でこわれやすく、はかなくて脆弱で、あとずさりをするような異質を秘め、大半の論理から逸脱するような未知の振動体でしかないようなのに、ときに深すぎるほど大胆で、とびきり過敏な超越をあらわすものなのだ。」（フラジャイル 松岡正剛）

第8回 じねんじょフェスティバル 開催！！

恒例となりました“じねんじょフェスティバル”
平成23年11月6日(日) 10時より開催予定です。
只今、みなさんが楽しめる催しを企画中です。

是非、みなさん遊びに来て下さいね！！



おやじの会!



真夏の太陽の下、屋上のウッドデッキを
修理していただきました



雨の中の馬関祭り、バーベキューお疲れさまでした

おやじの会（保護者の父親）のみなさま「ありがとうございました！」

地域参加と交流

Jひろば

夏休みJひろばを
解放して地域の方に
日々の活動を体験して
いただきました



考古学博物館に
外出しました

アルミ缶回収



換金したお金は
行事等に使わせて
もらっています

Jひろば 陶芸作品



梅こぶちゃさんの
エフロンシアター♪



ウクレレコンサート♪



パステル画
藤井先生と色を表現中!



活動紹介!!

戦場ヶ原でお花見♪



じねんじょチームが
見事優勝♪



ひかり童夢へむくっこ外出



お弁当の後は
絵本タイム!



みんなでお昼寝...☆

ミュージックテーブルで
先生と音楽♪



海響館に出かけたよ



馬関祭りに出店!!

たくさんの方が
来てくれました



七夕
七夕

どんなお願い事
したのかな?

こども平家踊りに参加

みんなで輪になって踊ったよ



いいきもち～
屋上で水遊び

今年のじねんじょ公開フォーラム 2011（平成 23 年 7 月 23 日(土) 開催）は、横須賀市にある社会福祉法人みなと舎「ゆう」の飯野雄彦理事長より「重症心身障害者が地域で生きぬくには」というテーマで講演を頂きました。

開設前（平成14年6月）にも「こうすれば重心といわれる人たちの地域生活は可能である」とご講演いただき、「じねんじょ」を立ち上げるのに多大なご尽力を頂きました。

再び下関にお招きしたのは、「じねんじょ」が 8 年目を迎え本人（メンバー）の機能維持の問題や家庭介護力の低下など生活状況が徐々に変化し、日中活動の提供だけに留まらずに、新たな生活支援の必要性も増してきています。このフォーラムをきっかけに、再度初心に立ち返り、重い障害をもった方々の生活を支える仕組みをみんなで考えたいと思ったからです。

講演の中で「一人ひとりの Well-being（健康で幸福な状態）を求めて」の話を聴き思ったことは、メンバーの一人ひとりの存在に寄り添いながら、障害があるために弱い波長（コミュニケーション、ニーズなど）の発言であっても、本人のチャンネルに合わせ傾聴すること、生活や取り巻く環境を科学的に分析（数値化）すること、彼らを家族の一員から自立した大人としての存在を確立し、あたり前の生活を提供していくことが重要であることを学びました。

重症心身障害者児（者）が安心して生活ができるように努めてまいりますので、これからもご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



講師：飯野雄彦 氏

“じねんじょの輪”

ミュージックテーブルを通して、皆様方と楽しいひとときを過ごさせて頂いてから、7 月で早や 4 年目に入りました。職員の方のたゆまぬ研鑽により、利用者さんとの、暖かい自然な触れ合いに、強い絆の深さを感じます。

私も少しでも、利用者さんと共感でき、笑顔がたくさん出る音楽を模索していきたいと思っています。好きな音楽が流れてからの、満面の笑顔を見るにつけ、ああ良かったと嬉しくなります。いつも帰る時、今日も元気を有難うと、感謝して帰路についています。

これからもよろしくお願いいたします。



ヤマハ音楽教室講師 本多 記子

寄付者氏名（敬称略、順不同） H23.4.1～H23.8.31

- ・株式会社フタバ工芸社
- ・もみの木薬局
- ・れんげ畑
- ・やまぐち小児科
- ・陶芸サロンじねんじょ窯
- ・さをり織サークル
- ・じねんじょ保護者会
- ・三菱重工労働組合下関造船支部

（デジタルカメラ2台 寄贈）

たくさんのご寄附をいただきました。

ありがとうございました。

平成23年度 9月以降の行事予定

- ・11月 6日 じねんじょフェスティバル
- ・11月 13日 下関市障害者交流卓球大会
- ・12月中旬 手をつなぐみんなの福祉フェスタ

平成24年

- ・1月5日 成人を祝う会
- ・3月中旬 もちつき



【編集後記】

東北大震災から5カ月が経ちます。震災があった地域の施設は少しずつ元気を取り戻している様です。

じねんじょは今年もいろいろな方々の力をお借りして楽しい毎日を過ごす事が出来ています。

ありがとうございます。

まだまだ残暑が厳しい日が続きますが夏バテしない様にして下さい。

秋の足音はもうそこまで来ていますよ。

